

会計名		市道01-40号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計						担当課	道路建設課		
款	項					目	担当係	道路整備係	
8	2					3			
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	バイパス機能を持った幹線道路を整備することにより、慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制する。	主たる内容	市道01-40号線（起点：中手町3丁目～終点：熊野町6丁目）の道路整備 延長 1,600m 幅員 12.0～15.5m					
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市都市交通戦略						
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成11年度～令和8年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO実績 実施V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・用地取得 2,497㎡ ・物件移転補償 1件 ・地質調査 ・周辺整備工事		・道路新設改良工事 154m ・周辺整備工事 ・工事用仮設道路工事（H28繰越分） ・用地取得 2,837㎡		・用地取得 2,614㎡ ・橋りょう詳細設計 ・工事用仮設道路工事（H29繰越分） ・道路新設改良工事 154m ・工事用仮設道路工事		・JR調査協定 ・橋梁下部工工事 3基 ・工事用仮設道路工事 ・排水路改修工事（H30繰越分） ・用地取得 174㎡	
成果		平成30年度までに、道路用地の面積割合で全体の約98%取得できた。道路新設工事を行い、部分供用をすることができた。							
課題		河川管理者と施工協議を行う。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（%）		81.5	91.6	99.4	100.0	100.0	
活動指標		道路整備率（%）		—	—	9.6	11.9	17.3	
他市との比較検証									
C事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		338,781	155,082	351,815	446,416	合計 351,815,065 円		
	財源	特定財源	31,081	4,358	259,116	230,700	需用費 20,200 円		
		一般財源	307,700	150,724	92,699	215,716	委託料 62,534,159 円		
	職員人件費②		15,943	13,493	9,799	9,211	工事請負費 240,882,960 円		
	総事業費（①+②）		354,724	168,575	361,614	455,627	公有財産購入費 46,827,614 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金					
2年度以降の事業費見込		0		繰越金					
						負担金、補助及び交付金 250,132 円			
						補償、補填及び賠償金 1,300,000 円			

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市街地における交通渋滞が慢性化していることから、南北地区間の移動に時間を要している。また通過車両が生活道路に流入し、生活道路の交通安全の確保が危惧される状況であるため、これらの対策を講じる必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	長期的な展望から、（仮）南北縦貫道路の一部区間の整備を行い、将来的な道路網を形成するため、広く市民からの理解を得て事業を推進する。また、社会資本整備総合交付金を活用して道路整備を進める。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	バイパス機能を持つ道路整備を行うことで、交通の円滑化や市街地内の渋滞が緩和され、地域間の交流が活発になる。また市民の身近な道路の安全性が確保されることで、良好な住環境が提供できる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路整備により、既存の幹線道路の混雑緩和と生活利便性の向上が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
橋りょう工事に必要となる仮設道路整備を進めるとともに、JRと工事協定に向けた調整を進めていく。					

会計名			市道2-619号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	道路整備係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	天王町と松坂町の幹線道路を結ぶ生活道路を整備することにより、生活基盤及び地域の住環境の向上を図る。			主たる内容	市道2-619号線（起点：天王町6丁目～終点：松坂町5丁目）の道路整備 延長 419m 幅員 6.0m			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令	道路法					
		対象者	市民	事業期間	平成12年度～令和4年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・用地取得 694㎡ ・物件移転補償 7件		・道路新設改良工事 218m（H28繰越分） ・用地取得 226㎡ ・物件移転補償 1件		・道路新設改良工事 138m（H29繰越分） ・道路新設改良工事 218m		—	
成果		道路新設改良工事を実施し、道路整備率の進捗を図ることができた。							
課題		用地交渉が難航している							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
活動指標		道路用地の面積取得率（％）	60.4	73.1	73.1	73.1	73.1		
活動指標	道路整備率（％）	—	0.0	83.3	83.3	83.3			
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		61,747	27,781	37,196	0	合計 37,196,080円 工事請負費 37,196,080円		
	財源	特定財源	24,668	1,289	19,054	0			
		一般財源	37,079	26,492	18,142	0			
	職員人件費②		12,035	3,800	2,083	0			
	総事業費（①+②）		73,782	31,581	39,279	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		繰越金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道2-619号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	地元要望に伴い、幹線道路と生活道路を結ぶ道路を新設する事業であるため必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	計画的に事業用地の確保を行っており、効果の確認ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域住民の利便性の向上を図る、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	生活道路を新設整備することにより、緊急車両の通行を可能にする等、地域住民の利便性が確保される。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き地権者交渉を進める。					

会計名 一般会計			市道2-485号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	道路を拡幅し歩道を設置することにより、歩行者の安全確保及び地域の住環境の向上を図る。	主たる内容	市道2-485号線（起点：銀座5丁目～終点：銀座4丁目）の道路整備 延長 210m 道路幅員 10.0m 車道幅員 7.0m 歩道幅員 3.0m 電線類地中化					
	位置づけ	関連計画		刈谷市中心市街地まちづくり基本計画					
			根拠法令	道路法					
		対象者	市民	事業期間	平成13年度～令和3年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・用地取得 105㎡ ・物件移転補償 6件		・用地交換 342㎡ （H28線越分） ・用地取得 95㎡ ・物件移転補償 4件		・道路新設改良工事 40m ・電線共同溝詳細設計 1式		・道路新設改良工事 130m	
成果		電線共同溝詳細設計を実施した。							
課題		電線共同溝整備について電線事業者と調整する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標	道路用地の面積取得率（％）		86.9	100.0	—	—	—		
活動指標	道路整備率（％）		—	—	4.7	20.1	100.0		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		71,639	30,094	18,068	19,000	合計	18,068,400円	
	財源	特定財源	2,274	30,094	0	5,000	委託料	14,018,400円	
		一般財源	69,365	0	18,068	14,000	工事請負費	4,050,000円	
	職員人件費②		3,439	1,706	1,234	1,703			
	総事業費（①+②）		75,078	31,800	19,302	20,703			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道2-485号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	生活道路を拡幅し、歩道を分離することにより、歩行者・自動車が安全に通行できる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	両側拡幅ではなく、南側拡幅とすることで、物件補償費が軽減できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路拡幅により、一方通行であった路線を交互通行とすることができるため、利用者の利便性が向上する。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
電線事業者との協議を進め、電線共同溝整備に着手する。					

会計名			市道3-347号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	工業用地の基盤となる道路整備を行うことで、企業立地の促進を図る。	主たる内容	市道3-347号線他（起点：野田町新田～終点：野田町大ヒゴ）の道路整備 延長 620m 幅員 9.0m						
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、企業立地推進ビジョン							
		根拠法令	道路法							
	対象者	市民	事業期間	平成28年度～令和3年度						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 課題 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・道路予備設計		・道路新設改良工事 110m ・道路詳細設計		・用地測量		・用地取得 590㎡ （H30繰越分） ・用地取得 922㎡ ・道路新設改良工事 100m		
成果		用地買収に必要な用地の確定ができた。								
課題		地権者交渉及び関係機関協議を進める必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			—	—	0.0	100.0	100.0	
活動指標		道路整備率（％）			—	17.7	17.7	33.9	100.0	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		2,106	78,035	12,911	18,133	合計	12,910,792円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	9,238,792円		
		一般財源	2,106	78,035	12,911	18,133	工事請負費	3,672,000円		
	職員人件費②		938	3,645	4,706	6,115				
	総事業費（①+②）		3,044	81,680	17,617	24,248				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道3-347号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	工場立地に必要な基盤をつくるため、道路整備の必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	工場立地可能な必要最小限の整備区間になっている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	工場立地を円滑に誘導するには、市が主体となって整備する必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路整備により工場立地が可能となり、工場用地が確保できる。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	用地買収及び道路整備工事を進める。				

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	スマートIC整備係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	既存道路の拡幅整備や、県道岡崎豊明線から主要地方道名古屋岡崎線までの道路整備を行うことで、歩行者の安全と円滑な交通を確保する。	主たる内容	市道01-4号線（起点：井ヶ谷町池之浦～終点：今川町交差点）の道路整備 延長 3,200m 幅員 13.5～15.0m （両側歩道 幅員 2.5～3.5m）						
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市都市交通戦略							
		根拠法令	道路法							
	対象者	市民	事業期間	平成11年度～令和4年度						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・道路新設改良工事 105m		・道路新設改良工事 103m ・交差点詳細設計 ・道路詳細設計 ・橋りょう詳細設計		・道路新設改良工事 220m ・交差点改良工事 1箇所 ・用地取得 9,390㎡ （H29繰越分） ・用地取得 5,430㎡		・道路新設改良工事 370m ・交差点改良工事 1箇所 ・用地取得 390㎡ （H30繰越分） ・用地取得 3,817㎡		
成果		道路新設改良工事を実施し、道路整備率の進捗を図ることができた。								
課題		道路管理者や河川管理者との継続的な協議を実施し、計画的な事業進捗を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		道路用地の面積取得率（％）		90.3	58.0	89.1	97.9	100.0		
活動指標		道路整備率（％）		88.7	61.0	67.9	79.4	92.3		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		31,315	103,257	690,600	605,948	合計	690,599,764円		
	財源	特定財源	3,900	0	508,390	517,900	需用費	239,900円		
		一般財源	27,415	103,257	182,210	88,048	委託料	9,716,427円		
	職員人件費②		2,892	14,268	19,443	19,273	工事請負費	73,780,000円		
	総事業費（①+②）		34,207	117,525	710,043	625,221	公有財産購入費	480,279,513円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金 道路新設改良事業債 繰越金						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	スマートIC整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	当該路線は国道1号線と連絡する重要な路線であり、交通量が多い上に大型車の混入率が高い。また一部区間は通学路として利用されている。しかし、車線幅員や歩道幅員が狭く、交差点で慢性的な交通渋滞が発生しているため、交通の円滑化と安全性の向上を図る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	社会資本整備総合交付金を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	ゆとりある暮らしを支える生活基盤として、道路の拡幅整備や交差点改良を行うことで、交通安全や生活利便性の向上を図るとともに企業の産業活動を促進する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路の整備は、県道岡崎豊明線との交差点改良、及びバイパス区間は道路の拡幅が完了しており、交差点の渋滞緩和と旧道沿線地区の良好な住環境の形成（騒音や交通安全確保）に一定の効果がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今川町交差点及び北側延伸区間について用地買収及び道路工事を進める。					

会計名			市道02-5号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	事業推進係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	愛知県が施行する都市計画道路豊田刈谷線（県道宮上知立線）の整備により設置される交差点に接続する市道の整備を行うことで、県道により分断される地区の利便性及び安全性を確保する。			主たる内容	市道02-5号線他（起点：一里山町伐払～終点：一里山町南本山）の道路整備 延長 1,400m 幅員 6.0～10.0m			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民		事業期間	平成26年度～令和6年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		_____		<ul style="list-style-type: none"> ・用地測量 ・道路予備設計 		<ul style="list-style-type: none"> ・不動産鑑定評価 		<ul style="list-style-type: none"> ・道路詳細設計 ・用地測量 ・用地取得 3,422㎡（H30繰越分） ・用地取得 655㎡ 	
成果		不動産鑑定評価を行い用地単価決定の準備を行った。							
課題		地権者交渉及び関係機関協議を進める必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			—	—	0.0	72.0	100.0
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	28,859	1,231	147,011	合計	1,231,200 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,231,200 円	
		一般財源	0	28,859	1,231	147,011			
	職員人件費 ②		0	2,481	3,163	6,811			
	総事業費（①+②）		0	31,340	4,394	153,822			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道02-5号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	県道宮上知立線により分断される地区の利便性及び安全を確保に必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、道路整備を進めていくため、効率的な事業進捗が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	県道宮上知立線により分断される地区の往来が可能となる。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
県道整備による市民の利便性を確保するため、整備区間に加え県道に並行する路線の計画策定を進めるとともに、県道の事業進捗状況に合わせて事業進捗を図る必要がある。					

会計名			市道01-41号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	スマートIC整備係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	スマートインターチェンジの整備に合わせた道路整備を行うことで、産業の生産性向上、交通渋滞の緩和、周辺地域の活性化、観光振興、防災機能の強化を図る。	主たる内容	市道01-41号線（起点：東境町石神～終点：東境町松ヶ枝）の道路整備 延長 1,900m 幅員 5.5～30.0m						
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン							
		根拠法令	道路法、道路橋示方書							
		対象者	市民	事業期間	平成29年度～令和3年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
				・道路詳細設計		・駐車場改良工事 2箇所 ・用地取得 3,124㎡ （H29繰越分） ・道路詳細設計 ・用地測量		・橋りょう工事 1箇所 ・道路新設改良工事 550m （H30繰越分） ・道路新設改良工事 120m ・ため池改修工事 1箇所 ・用地取得 559㎡		
成果		令和4年3月までの完成に向けて計画的に工事を進めることで、予定通り事業の進捗を図った。								
課題		スマートICの早期開通に向けて、関係者協議を迅速かつ適切に実施するとともに、工事を確実に進捗させる必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		道路整備率（％）			—	—	0.0	36.8	100.0	
活動指標										
他市との比較検証		県内でのスマートIC箇所（実施中含む） ・豊田市（鞍ヶ池、上郷） 名古屋市（守山）								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		0	3,024	291,095	690,401	合計	291,095,078円		
	財源	特定財源	0	0	233,539	481,000	需用費	42,400円		
		一般財源	0	3,024	57,556	209,401	委託料	102,986,196円		
	職員人件費②		0	7,367	19,057	16,177	使用料及び賃借料	435,614円		
	総事業費（①+②）		0	10,391	310,152	706,578	工事請負費	80,101,440円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	30年度特定財源名称						
	30年度までの累積事業費		0	都市交通施設整備基金						
	2年度以降の事業費見込		0	道路新設改良事業債 委託業務負担金 繰越金						
						公有財産購入費	89,484,700円			
						負担金、補助及び交付金	6,721,066円			
						補償、補填及び賠償金	11,323,662円			

会計名			市道01-41号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	スマートIC整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	本地域周辺は、日本の経済を牽引する自動車関連産業の大規模工場の集積地であり、この地域を通る幹線道路では、交通集中による慢性的な渋滞が発生し、物流交通や市民の生活活動を阻害しているため、スマートICを整備することで、道路環境を改善する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	ICアクセス道路の整備に対する国の補助事業を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	現在供用している市道や公園内の通路を改良し、スマートICのアクセス道路を整備することで、事業の早期実現を目指し、地域間交通流動の円滑化や交通渋滞の緩和を促進する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	高速ネットワークへの到達圏域が拡大することにより周辺地域が活性化され、産業生産性の向上、大型車減少による生活環境の向上、救援物資輸送や地域防災性が向上する効果がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
スマートICの令和4年3月までの工事完了を実現するため、関係機関や地元との協議を適切に実施し、計画的に工事を進める。					

会計名 一般会計			市道02-31号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	2	3					担当係	事業推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	依佐美地区工業用地の造成に伴い必要となる周辺道路を整備することにより、歩行者の安全確保と交通の円滑化を図る。	主たる内容	○市道02-31号線（起点：半城土町大組～終点：小垣江町北高根）の道路整備 延長 680m 幅員 10.0~16.0m ○交差点改良（庚申塚・半城土大組） 2箇所						
	位置づけ	関連計画		都市計画マスタープラン						
		根拠法令		道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成29年度～令和8年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		_____		<ul style="list-style-type: none"> 交差点改良詳細設計 用地測量 		<ul style="list-style-type: none"> 道路概略設計 用地取得 6,176㎡（H29繰越分） 交差点改良詳細設計 用地測量 		<ul style="list-style-type: none"> 交差点改良工事 1箇所 		
成果		庚申塚交差点改良に必要な用地取得ができた。								
課題		企業庁と協議調整し、計画的な事業進捗を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標	道路用地の面積取得率（％）		—	—	84.2	84.2	84.2			
活動指標	道路整備率（％）		—	—	—	12.3	50.7			
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	2,678	151,247	99,000	合計	151,247,303 円		
	財源	特定財源	0	0	7,848	78,100	旅費	51,280 円		
		一般財源	0	2,678	143,399	20,900	需用費	41,000 円		
	職員人件費 ②		0	775	4,012	2,012	委託料	9,106,333 円		
	総事業費（①+②）		0	3,453	155,259	101,012	公有財産購入費	142,048,690 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		繰越金						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道02-31号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	刈谷依佐美地区工業用地造成により増加する交通の円滑化と歩行者の安全を確保するため必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	企業庁と連携して整備を進めるため、効率的な事業推進ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	工業団地整備に必要な道路整備は、工業団地整備を推進している市が行うことが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	工業団地整備を推進し、企業立地を促進させるため必要な事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
企業庁による工業団地整備と同調し道路整備を行う。					

会計名			市道3-928号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	事業推進係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	愛知県が施行する県道小垣江安城線の周辺道路を整備することにより、県道に分断される地区の利便性及び安全性を確保する。			主たる内容	市道3-928号線他（小垣江町東高根他）の道路整備 延長 270m 幅員 7.7~9.6m			
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン						
			根拠法令	道路法					
		対象者	市民	事業期間	平成30年度 ~ 令和5年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		_____		_____		・用地取得 26㎡		・道路改良工事 150m（H30繰越分） ・用地取得 10㎡	
成果		付替え水路用地取得ができた。							
課題		用地交渉が難航している。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標	道水路用地の面積取得率（％）				0.3	4.2	4.5	100.0	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	1,231	13,000	合計 1,231,047 円		
	財源	特定財源	0	0	1,137	0	需用費	1,000 円	
		一般財源	0	0	94	13,000	委託料	336,441 円	
	職員人件費 ②		0	0	2,006	1,316	公有財産購入費	856,170 円	
	総事業費（①+②）		0	0	3,237	14,316	補償、補填及び賠償金	37,436 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		公共補償金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道3-928号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	県道小垣江安城線整備により分断される地区の利便性及び安全性を確保するため必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、工事を進めていくため、効率的な事業進捗が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路整備により、県道整備で分断された地区の往来が可能になる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
県道小垣江安城線の事業進捗状況にあわせて、用地取得、道路整備を進めていく。					

会計名 一般会計			市道1-474号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	道路を拡幅し、富士松駅と富士松駅南口第2駐輪場の間に歩道を設置することにより、歩行者の安全を確保する。	主たる内容	市道1-474号線(今川町上池)の歩道整備 延長 24m 歩道幅員 3.5m					
	位置づけ	関連計画		刈谷市都市計画マスタープラン					
			根拠法令	道路法					
		対象者	道路利用者・駅利用者	事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		_____		・駐輪場整備事業により用地取得 100㎡		・道路新設改良工事 24m		_____	
成果		道路新設改良工事を実施し、事業完了することができた。							
課題									
指標名称（単位）					実績値		目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
活動指標	道路整備率（％）				—	—	100.0	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	6,123	0	合計	6,122,520 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	6,122,520 円	
		一般財源	0	0	6,123	0			
	職員人件費 ②		0	0	849	0			
	総事業費（①+②）		0	0	6,972	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費			0						
2年度以降の事業費見込			0						

会計名			市道1-474号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	駅と駐輪場の間を通行する歩行者の安全性が確保される必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	事業用地の取得後、すみやかに整備することで、事業効果が早期に確認できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域住民の利便性の向上を図る、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	駅から駐輪場までの歩行者導線が確保される貢献度の高い事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成30年度事業完了					

会計名 一般会計			市道2-496号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	2	3					担当係	道路整備係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	歩道・自転車道の整備							
	目的	道路を拡幅し歩道を設置することにより、歩行者の安全確保及び地域の住環境の向上を図る。	主たる内容	市道2-496号線（起点：銀座4丁目～終点：新栄町7丁目）の道路整備 延長 360m 幅員 11.0~17.5m 車道幅員 7.0m 歩道幅員 4.0m 電線類地中化						
	位置づけ	関連計画		刈谷市中心市街地まちづくり基本計画、無電柱化推進計画						
		根拠法令		道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成15年度～令和3年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・用地取得 219㎡ ・物件移転補償 7件 ・道路新設改良工事 115m （H27繰越分） ・用地取得 228㎡ ・物件移転補償 6件		・用地取得 85㎡ ・道路新設改良工事 118m		（H29繰越分） ・道路新設改良工事 118m		（H30繰越分） ・道路新設改良工事 112m		
成果		道路新設改良工事を実施し、道路整備率の進捗を図ることができた。								
課題		用地交渉が難航している。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標	道路用地の面積取得率（％）		91.4	94.4	94.4	94.4	94.4			
活動指標	道路整備率（％）		56.7	56.7	73.3	88.6	88.6			
他市との比較検証		_____								
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①		256,475	63,594	103,902	770	合計	103,901,646 円		
	財源	特定財源	64,871	53,412	53,617	0	委託料	16,377,120 円		
		一般財源	191,604	10,182	50,285	770	工事請負費	73,783,000 円		
	職員人件費②		12,817	6,514	3,241	929	補償、補填及び賠償金	13,741,526 円		
	総事業費（①+②）		269,292	70,108	107,143	1,699				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金(国) 道路新設改良事業債 電線共同溝建設負担金 繰越金						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道2-496号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	道路を拡幅し、歩道設置、電線類の地中化を行うことにより、交通安全の確保、市民生活の利便性が向上する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	道路整備に合わせて、電線類の地中化を図るため、効率的に事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることで、中心市街地の活性化・地域生活基盤の向上が図られる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		
引き続き、地権者交渉を進める。					

会計名 一般会計		都市計画道路3・4・551刈谷環状線電				担当部	建設部		
款 項 目 8 4 3		線類地中化事業				担当課	道路建設課		
						担当係	道路整備係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	歩道内の電柱及び電線を地中に埋設することにより、安全で快適な歩行空間を確保するとともに、発災時における緊急輸送道路としての機能を確保する。			主たる内容	都市計画道路刈谷環状線（起点：高松町1丁目～終点：住吉町3丁目）の道路整備 延長 474m 幅員 15.0m 電線類地中化 バリアフリー化			
	位置づけ	関連計画				都市計画マスタープラン、刈谷市中心市街地まちづくり基本計画、無電柱推進計画			
		根拠法令			道路法、電線共同溝整備等に関する特別措置法				
		対象者	市民	事業期間	平成25年度～令和5年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・電線類地中化工事 127m		・電線類地中化工事 147m (H28繰越分) ・電線類地中化工事 127m		(H29繰越分) ・電線類地中化工事 147m		・電線類地中化工事 210m	
成果		各電線管理者等と協議し、道路整備（電線類地中化及びバリアフリー化）工事を行い、電線類地中化・道路整備率の進捗を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）					実績値		目標値		
活動指標	電線類地中化・道路整備率（％）			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標				0.0	12.8	27.5	48.7	79.0	
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		17,101	101,759	127,868	140,079	合計	127,868,344円	
	財源	特定財源	1,298	79,797	98,549	76,446	工事請負費	69,548,760円	
		一般財源	15,803	21,962	29,319	63,633	補償、補填及び賠償金	58,319,584円	
	職員人件費②		4,455	5,351	2,469	3,251			
	総事業費（①+②）		21,556	107,110	130,337	143,330			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金(国) 都市交通施設整備基金 繰越金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・551刈谷環状線電 線類地中化事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	電線類地中化は、緊急輸送道路の機能確保及び歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する上で必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	電線類地中化に合わせて、歩道のバリアフリー化を実施することでコストの縮減を行い、効率的な事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良事業であるため、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
今後も計画的に、道路新設改良工事（電線類地中化工事含む）を進めていく。						

会計名 一般会計		都市計画道路7・4・555刈谷駅前線道				担当部	建設部		
款	項	目	路新設改良事業			担当課	道路建設課		
8	4	3				担当係	道路整備係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	刈谷駅北口周辺における自動車交通の円滑化及び安全性の向上を図るとともに、安心して安全な歩行空間の確保と、まちづくりと一体となった新たな賑わい空間を創出することにより、刈谷駅北口のシンボルロードづくりを進める。	主たる内容	都市計画道路刈谷駅前線（起点：相生町2丁目～終点：桜町1丁目）の道路整備 延長 250m 幅員 18.0m 車道幅員（一車線、一方通行） 5.0m 歩道幅員 3.5～9.5m 電線類地中化 バリアフリー化 交差点改良 2箇所					
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、刈谷市中心市街地まちづくり基本計画、無電柱化推進計画						
		根拠法令	道路法、電線共同溝の整備等に関する特別措置法						
		対象者	市民	事業期間	平成27年度～平成31年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 道路詳細設計 電線類地中化詳細設計 連絡通路延伸詳細設計 交差点改良工事（H27線越分） 電線類地中化予備設計 交差点詳細設計 		<ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化工事 157m 		<ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化工事 319m 連絡通路延伸工事 1式 		<ul style="list-style-type: none"> 道路新設改良工事 250m 連絡通路延伸工事 1式 	
成果		電線類地中化工事を実施し、電線類地中化率100%となった。							
課題		駅前で供用されている道路のため、仮設道路期間を減らし、工事の早期完成を目指さなくてはならない。地域住民、商店街組合、行政が協働して周辺のまちづくりと一体となった新たなにぎわい空間の活用を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		電線類地中化率（%）		—	32.7	100.0	—	—	
活動指標		道路整備率（%）		—	—	—	100.0	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		84,835	60,181	173,862	246,058	合計	173,861,912円	
	財源	特定財源	10,962	26,782	167,976	170,000	委託料	60,242,400円	
		一般財源	73,873	33,399	5,886	76,058	工事請負費	107,615,520円	
	職員人件費②		3,282	4,032	5,169	3,251	補償、補填及び賠償金	6,003,992円	
	総事業費（①+②）		88,117	64,213	179,031	249,309			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金(国)					
2年度以降の事業費見込		0		都市交通施設整備基金 電線共同溝建設負担金 繰越金					

会計名 一般会計			都市計画道路7・4・555刈谷駅前線道 路新設改良事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	交通拠点となる刈谷駅にふさわしい、賑わい空間を創出し、活性化を図る必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	地元住民、商店街組合、地元企業などが参画するワークショップと連携し、道路線形やデザインを決定した。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷駅北口のシンボルロード作りにあたり、地元ワークショップで聴取した意見を参考に事業を進めていくのは、行政として必要な役割である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	地元ワークショップと連携し、事業の推進を行うことにより、地域住民等と一体となったまちづくりが実施できている。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
刈谷駅北地区整備事業との工程調整しながら、事業を進める。						

会計名 一般会計			歩道整備事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	2	3					担当係	道路整備係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	歩道・自転車道の整備							
	目的	既存の歩道を見直し、段差等を解消することで、誰もが歩きやすい安心安全な歩道空間を形成する。				主たる内容	市内全域の歩道について調査・点検を行い、整備計画を策定し、順次整備工事を実施する。 ○計画策定対象歩道延長 146km			
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン							
			根拠法令	道路法						
		対象者	市民			事業期間	平成28年度～令和8年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 課題 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・計画策定業務委託 1式		・歩道詳細設計 1式 ・歩道整備工事 26m		・歩道整備工事 144m (H29繰越分) ・歩道整備工事 264m		・歩道整備工事 462m		
成果		歩道整備工事を実施し、歩道整備率の進捗を図ることができた。								
課題		各路線の整備内容や沿道施設、歩道の特性などを評価し、計画的に歩道整備を実施する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標	歩道整備率（％）			—	0.1	1.5	3.2	4.0		
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		6,156	9,623	41,838	89,000	合計	41,838,120 円		
	財源	特定財源	0	0	24,129	0	工事請負費	41,838,120 円		
		一般財源	6,156	9,623	17,709	89,000				
	職員人件費 ②		0	2,869	3,626	3,251				
	総事業費（①+②）		6,156	12,492	45,464	92,251				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費			0	繰越金						
2年度以降の事業費見込			0							

会計名			歩道整備事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	歩道を整備することにより、歩行者の安全を確保する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	順次、歩道整備を進めていくことにより、事業の効果が早く確認できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良工事であり、道路管理者が行なうべき公共性の高い工事である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	歩道を整備することにより、歩行者が安全に通行できるようになる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
整備計画を基に計画的に事業を進めていく。					

会計名 一般会計			橋りょう補強事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	2	4	担当係	道路整備係						
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防災							
		施策の内容	災害に強いまちづくり							
	目的	避難道路に架かる橋りょうの耐震化を促進し、地震発生後に市民が安全に避難するための経路を確保する。				主たる内容	○橋りょうの耐震化 対象橋りょう数 37橋			
	位置づけ	関連計画 地域防災計画、地震対策アクションプラン								
		根拠法令		道路法						
		対象者		市民		事業期間	平成24年度～令和7年度			
		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・橋りょう耐震補強実施設計 6橋 ・橋りょう耐震補強工事 7橋 (花池橋、帆落田橋、丸田橋、築地川橋、元刈谷橋、西帆1号橋、丸山橋)		・橋りょう耐震補強実施設計 6橋 ・橋りょう耐震補強工事 6橋 (洲原橋、蓮池6号橋、専光寺橋、宮東橋、鷗7号橋、寺裏跨線橋) (H28線越分) ・橋りょう耐震補強工事 2橋 (西帆1号橋、丸山橋)		・橋りょう耐震補強工事 3橋 (江川2号橋、新上納橋、折戸2号橋)		・橋りょう耐震補強実施設計 2橋 ・橋りょう耐震補強工事 3橋 (吹戸橋、庚申3号橋、神明橋)		
成果		計画的に耐震補強工事を行うことができた。								
課題		橋りょう耐震化計画に基づき、橋りょう補強について関係機関と調整する必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		避難道路内の橋りょうの耐震化率（％）				21.6	37.8	45.9	54.1	67.6
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		57,526	99,536	33,602	48,600	合計	33,602,040 円		
	財源	特定財源	6,218	84,442	0	0	工事請負費	33,602,040 円		
		一般財源	51,308	15,094	33,602	48,600				
	職員人件費 ②		4,220	3,412	1,620	3,638				
	総事業費（①+②）		61,746	102,948	35,222	52,238				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			橋りょう補強事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備係
8	2	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	発災後、地域住民が避難所まで安全に移動できるよう、避難道路内にある市が管理する橋りょうの耐震化を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	橋りょうの耐震化計画と長寿命化計画を調整することでコストの縮減を図り、効率的に事業を進めることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市地域防災計画で、市の責務として「被災者等が迅速かつ安全に避難できるよう、通行確保に努める」としている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	災害に強いまちづくりを行うためには、避難道路に架かる橋りょうの耐震化が必要である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
関係課と調整しながら、耐震補強工事を順次実施し、避難道路の機能確保に努める。					

会計名			道路用地等管理事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	取得済み道路用地等の草刈り、砕石敷均し等の維持管理を行い、安全を確保する。			主たる内容	事業着手するまでの期間、取得した道路用地の定期的な草刈を行う。また、必要に応じ安全面を考慮して砕石の敷均しを行う。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者				事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・道路事業用地管理（除草、舗装補修）		・道路事業用地管理（除草、舗装補修）		・道路事業用地管理（除草、のり面補修）		・道路事業用地管理（除草、砕石敷均し）		
成果		道路用地として取得した土地の維持管理が適切に行われている。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		18,973	2,846	8,936	12,780	合計	8,935,920 円		
	財源	特定財源	0	185	93	2	委託料	8,147,520 円		
		一般財源	18,973	2,661	8,843	12,778	工事請負費	788,400 円		
	職員人件費 ②		1,329	2,094	1,620	929				
	総事業費（①+②）		20,302	4,940	10,556	13,709				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			市道02-9号線道路新設改良事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	2	3					担当係	道路整備係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	発杭川排水機場へ通じる道路の冠水を防ぐため、道路の嵩上げを行い、排水機場への安全な通路を確保する。		主たる内容	市道02-9号線（今川町蓮池）の道路整備 延長 40m 幅員 5m					
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民		事業期間	平成30年度 ~ 平成31年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
								(H30繰越分) 道路新設改良工事 40m		
成果		道路新設改良工事に着手した。								
課題										
指標名称（単位）			実績値			目標値				
活動指標		道路整備率（％）		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標					0.0	100.0	-			
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	0	0	合計 0円			
	財源	特定財源	0	0	0	0				
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費 ②		0	0	0	0				
	総事業費（①+②）		0	0	0	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道3-363号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	愛知県が施工する県道小垣江安城線整備事業により分断される地区の利便性及び安全性を確保する。			主たる内容	市道3-363号線(現3-928) (小垣江町東高根)の道路整備 延長 270m 幅員 7.7~9.6m				
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン							
			根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成29年度 ~ 平成30年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		_____		・道路新設改良工事 12m ・舗装工事 350m ・用地取得 14m ²		・用地取得 26m ² ・物件移転補償 1件		_____		
成果		付替え道路整備に必要な用地取得を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			—	0.3	4.4	4.4	100.0	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	12,101	7,587	0	合計 7,587,374 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 1,000 円			
		一般財源	0	12,101	7,587	0	公有財産購入費 4,927,680 円 補償、補填及び賠償金 2,658,694 円			
	職員人件費 ②		0	4,420	2,855	0				
	総事業費（①+②）		0	16,521	10,442	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0		繰越金				
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			付替道水路用地公共補償事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	事業推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	県道名古屋岡崎線の整備に伴い付替える道路及び水路の整備に必要な用地買収を行い、代替機能の確保を図る。		主たる内容	付替道路及び水路用地の取得 5件 取得場所 井ヶ谷町池之浦				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者		事業期間	平成30年度 ~ 平成31年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
						・用地取得 57㎡		(H30繰越分) ・用地取得 182㎡	
成果		付替え道路及び水路用地の取得を行うことができた。							
課題		県と協議調整し、用地取得を進める必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		道水路用地の面積取得率（％）					23.7	100.0	-
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,710	0	合計 1,709,945 円		
	財源	特定財源	0	0	1,485	0	需用費 1,400 円		
		一般財源	0	0	225	0	公有財産購入費 1,708,545 円		
	職員人件費 ②		0	0	1,620	1,703			
	総事業費（①+②）		0	0	3,330	1,703			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		公共補償金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			市道3-804号線道路新設改良事業				担当部	建設部
款	項	目					担当課	道路建設課
8	2	3					担当係	事業推進係
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境					
		基本施策	道路・交通					
		施策の内容	道路の整備					
	目的	市道の付替え整備を行い、フローラルガーデンよさみの敷地を一体化することで、公園利用の利便性向上を図る。	主たる内容	市道3-804号線(高須町四村合)の道路整備 延長 160m 幅員 6.0m				
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令	道路法					
	対象者	市民		事業期間	平成30年度 ~ 令和2年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画
						・道路詳細設計		
成果		道路詳細設計ができた。						
課題		関係機関協議を行う必要がある。						
指標名称（単位）				実績値		目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	
活動指標		道路整備率（%）				-	-	100.0
活動指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳
	事業費 ①		0	0	4,190	0	合計	4,190,400 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	4,190,400 円
		一般財源	0	0	4,190	0		
	職員人件費 ②		0	0	849	0		
	総事業費（①+②）		0	0	5,039	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		
30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0						